（様式３－１） 研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

嬉野市議会議員　　芦塚　典子

開催月日	平成30年4月13日（金）		
開催時間	１４：００～１６：３０		
開催場所	リファレンス駅東ビル		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	財政関連の質問のポイント		
講師等の氏名等	自治体経営コンサルタント　川本達志		
内容・結果等	（1）財政関連の質問のポイント　①自己主張型、課題・責任追及型、政策提案型 ・正確な現状認識、課題認識が時宜をえて共感できる、仮説が十分検証されている。 ・課題・責任追及型の質問 （2）一般質問と議会の意思　・一般質問は議員個人の考えに基づいている場合が多い。 ・一方、議会の意思は議長の下に統合された機関の考え　・一般質問と議会意思は関係がないのか。議会意思を統合するための一般質問ということは考えられないのか。 本来は議会の機関意思決定を行うための手段。 （3）ポイント　議会が機関として政策的意思を持つ （栗山町議会の例）　議会が総合計画の対案を作る ・総合計画の専門家を招いて勉強会　・先進他市の調査　・総合計画素案策定委員会の設置　・素案の策定　・総合計画審議会の市民委員との討議　・総合　計画審議会との意見交換会　・町長提出の総合計画提出　⇒修正可決 マトメ 一般質問当初では、課題責任追及型の質問が主であったが、それでは現状認識の正確さが求められるが、住民との意見交換会等が少なく課題の一つであった。 住民の声から拾い上げた生の事実で、執行部の行き届かない現状課題を質問するのが必要であるとの認識を得た。また時宜的には、執行部の違法・不当な権限の行使が不適切な行為がある場合は追求型にも効果があり、十分な法律知識も必須条件である時代に効果的であったといえる。 議会は、法律上議員提案も政策提言も可能である。予算修正も言及し、調査も可能である。これらは議会の機関としての権能であるので、執行部に対して政策執行の結果に対して責任を持つということであり、議会がこの権能を有効に活用すれば、議会が政策をリードできる条件は十分にある。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	会場費		0
	講師謝礼		0
	会費		15,000
	旅費		7,330
	合計		22,330